

## 【別紙1】

## 令和元年度「地方公共団体の地域課題」応募概要

受付番号	県名	分野名	フィールド	地域課題の概要
1	岩手県	観光	一関市 巖美町須川地区	<b>●硫化水素濃度データ把握等による登山道の開放</b> ・栗駒山の硫化水素濃度の高値による一部登山道の閉鎖による観光客の激減による温泉宿の経営が危機的状況にある。 ・硫化水素濃度を常時測定している状況にあるが、人体に影響が無い低濃度の場合には、現在一部通行止めにしてある登山道の開放をしたい。 ・そのため山間部ではあるが、硫化水素の濃度のデータを管理する岩手県へ送り、その都度、通行止めや解除を判断できるデータ通信を可能にしたい。 <b>●観光施設等の情報発信による集客増</b> ・登山道や周辺の観光施設に関する情報不足から、栗駒山周辺にまで行かない状態である。 ・外国人登山者への情報発信も不足しているので、基礎から学びたい。
2		観光	八幡平市全域	<b>●当市来訪者(観光客)への災害情報提供</b> ・水害や噴火災害等の災害情報について、観光客等当市に在住していない来訪者への情報提供については方法が確立していない状況である。また、訪日外国人観光客への対応として、日本語以外の情報提供についても検討が必要である。 <b>●二次交通の確保</b> ・当市内にはJR花輪線、岩手県北自動車による路線バス、市が運行するコミュニティバス等交通手段があるが、いずれも一時間に一本程度と本数が少ない状況である。また、盛岡駅等の主要交通機関から市内宿泊施設へのバス運行は行っているものの、岩手山焼走り登山口等観光スポットへの移動や周遊できる移動手段が整備されていない状況である。
3	宮城県	防災	川崎町全域	<b>●高齢者見守りシステム整備</b> 高齢化率は年々増加しており、毎年、行方不明者も発生しており、行方不明者家族の負担も多大なものとなっており、今後も増加すると思われる。高齢者の行き先が確認できる手法を検討したい。
4	山形県	IoT基盤	鶴岡市温海地域	<b>●ICTを活用した地域情報伝達システムの構築</b> ・鶴岡市温海地域(旧温海町)では、昭和20年代から昭和40年代にかけて各自治会が整備した有線放送設備が住民に対する情報伝達手段として、未だに日常的に利用され、住民生活に不可欠な情報インフラとなっている。 しかしながら、人口・世帯の減少が進み、自治会の予算規模も縮小する中、有線放送設備は、老朽化による故障や海岸部の塩害や強風、山間部の豪雪等によるケーブルの断線、専用柱の傾倒など、その機能を維持するための経費が年々高み、自治会会計を大きく圧迫している現状にある。 そこで、ICTを活用し、単なる有線放送機能の代替えにとどまらず、防災や公共交通、買い物、医療・福祉など、過疎地域における住民生活を多角的にサポートする新たな情報伝達システムの構築が求められている。